学認 Survey システム
利用者向け操作マニュアル（詳細版）

【2026 年度版】

2026 年 11 月 8 日

国立情報学研究所

内容

1 はじめに 2
1.1 本マニュアルについて 2
1.2 注意事項 3
2 ログイン 4
2.1 「GakuNin でログインする」ボタンによるログイン 4
2.2 「ID/パスワードでログイン」欄でログイン 8
2.3 「学認/Orthros アカウントとの紐づけ」 8
2.4 「パスワードの変更」 9
2.5 同一機関の複数回答者による同時ログイン 10
3 ダッシュボード 10
3.1 ログアウト 11
4 アンケートの表示・回答 12
4.1 セクション一覧表示エリア 13
4.1.1 「回答を PDF 形式で印刷」ボタン 13
4.1.2 「提出する」ボタン 13
4.2 回答エリア 15
4.2.1 短文回答 15
4.2.2 長文回答 15
4.2.3 ドロップダウン 15
4.2.4 選択式（単一回答） 16
4.2.5 選択式（複数回答） 17
4.2.6 ドロップダウングリッド 17
4.3 質問の依存関係 18
4.3.1 選択肢として「その他」を選択した場合 18
4.3.2 選択肢に応じて別の質問の回答が必須になる場合 19

1 はじめに

1.1 本マニュアルについて

本マニュアルは学認 Survey システムの利用者向け操作方法を記載しております。

学認 Survey システムには、ログイン方法が 2 パターンあります。1 パターン目は、「学認 Survey システム ログイン方法等のご案内」に記載された「GakuNin でログインする」方法（2.1 参照）です。2 パターン目は、「ID/パスワードでログイン」欄を用いて調査票入力画面に直接ログインする方法（2.2 参照）です。

ご回答者様におかれましては、「学認 Survey システム ログイン方法等のご案内」の≪学認 Survey システムログイン方法の判別方法≫を参考にして、上記 2 パターンのいずれかでログインしてください。

「GakuNin でログインする」を利用できるのは、学認クラウドゲートウェイサービスをご利用されている機関で、2026 年 10 月 20 日時点で学認申請システムに運用担当者として登録されている人、および運用責任者かつ ePPN が登録されている人となります。学認申請システムにログインする際に Orthros を選択頂いている場合は、「GakuNin でログインする」方法で所属機関 IdP として Orthros を選択ください。

※　学認クラウドゲートウェイサービスへいくつかの属性を送信するよう設定頂けば、参加することができます。

学認参加 IdP 運用状況調査票(2026 年度実施版)　https://www.gakunin.jp/document/798 の「学認 Survey システム IdP 管理者向け設定マニュアル」を参照ください。

なお、学認申請システムに運用担当者として登録されていない方、および運用責任者かつ ePPN が登録されていない方が調査に回答頂ける場合は、次のいずれかの方法で機関グループにその方をメンバーとして登録してください。

・「ID/パスワードでログイン」後「学認/Orthros アカウントとの紐づけ」する（2.3 参照）

・学認クラウドゲートウェイサービスの機関グループにアカウントをメンバー登録する

学認参加 IdP 運用状況調査票(2026 年度実施版)　https://www.gakunin.jp/document/798 の「学認 Survey システム回答者管理マニュアル」参照

この登録後「GakuNin でログインする」方法でログインすることができるようになります。

1.2 注意事項

- 本調査にご回答いただく際、担当がわかれている場合は、適宜当該部門に確認の上ご回答ください。IdP の運用には下記の各部門が関係する可能性があります。また IdP の運用を外部委託している場合、当該委託事業者や IDaaS 事業者が下記いずれか、または複数を担当している場合があります。
    - **IdP 運用担当部門** ：多くの場合，IdP 運用担当者の所属部門が該当します。
    - **ID 基盤管理部門** ：LDAP や Active Directory などの ID 基盤を管理する部門が該当します。 情報基盤センター等以外にも、人事や総務が担当している場合があります。
    - **システム管理部門** ：IdP の設定とインフラを管理する部門が該当します。情報基盤センター等以外に、図書館などが担当している場合があります。
    - **ポリシー管理部門** ：機関の規程やセキュリティポリシーなどを管理する部門が該当します。
- 今年度の調査は、設問 1～53 までありますが、設問のまとまり（セクション）ごとにグループ化しており、関係すると思われる部門（IdP 運用担当部門以外）を記入しておりますが、照会先をこれに限定するものではありません。
- 本調査システムは、担当者別にログインして、複数人同時に回答することを想定しています。入力中「他の誰かが回答を変更しました」と表示されることがありますが、最新の回答をロードして、その回答を編集してください。
- 前年度調査票をご参照しながらご回答頂く場合、先頭セクション画面の「 前年度調査票はこちらからご参照いただけます」の『こちら』をクリックしてください。別タブにて前年度の回答を参照頂けます。ただし今年度から新たに調査に参加いただいた機関については参照いただけません。

2 ログイン

未ログインの状態で次の URL にアクセスすると、ログイン画面が表示されます。

https://survey.gakunin.nii.ac.jp/



以下の説明では、図中の上の赤色枠四角形を「GakuNin でログインする」ボタン、下の赤色枠四角形を「ID/パスワードでログイン」欄と呼ぶことにします。

2.1 「GakuNin でログインする」ボタンによるログイン

学認クラウドゲートウェイサービスの各機関に対応するグループに登録されているアカウントでログインします。

この方法でログインできるのは、学認クラウドゲートウェイサービスをご利用されている機関で、2026 年 10 月 20 日時点で学認申請システムに運用担当者として登録されている人、および運用責任者かつ ePPN が登録されている人となります。（あらかじめ、そのアカウントが登録されています）

「GakuNin でログインする」ボタンをクリックすると、下の学認クラウドゲートウェイサービスの認証画面に遷移します。



学認クラウドゲートウェイサービスに登録されているアカウントでログインすると、次の学認 Survey システムのダッシュボード画面に遷移します。

回答すべきアンケート「2026 年度。。。。」を選択して、回答を開始してください。

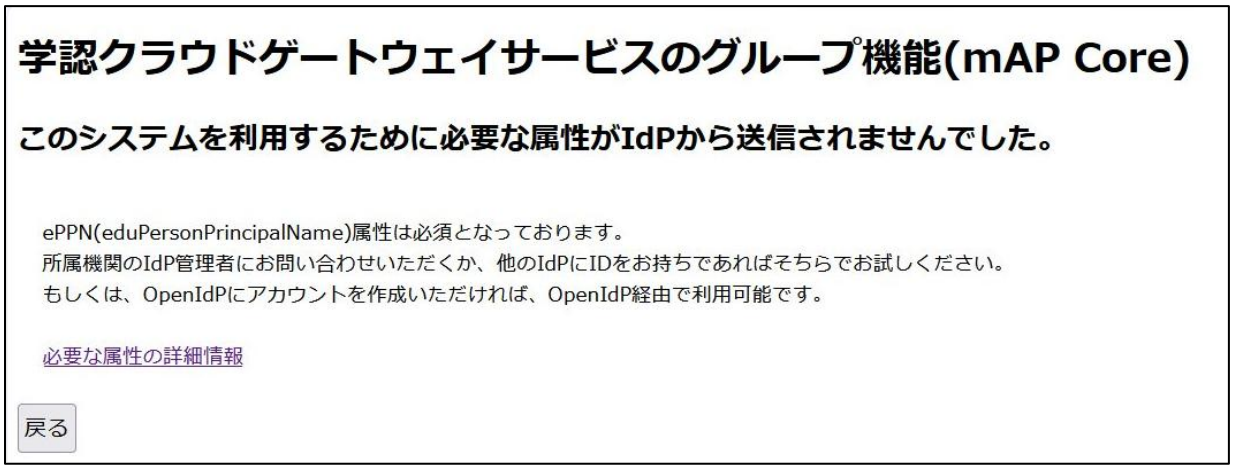


ただし、担当者が複数機関に登録されている場合があります。その時は、ダッシュボード画面に遷移する前に、どの機関に対する調査に回答するかを選択して頂きます。



機関名を選択して頂くと、ダッシュボード画面に遷移します。

なお、「GakuNin でログインする」ボタンを押下すると学認クラウドゲートウェイサービスの認証画面に遷移しますが、ここで、ePPN が取得できない（各機関の IdP が ePPN を送出しない）場合は、次のエラー画面が出ます。





このエラー画面が表示された時は、「学認 Survey システム IdP 管理者向け設定マニュアル.pdf https://www.gakunin.jp/document/798」を参考に貴機関管理の IdP の設定変更をして頂くか、「2.3「学認/Orthros アカウントとの紐づけ」の対処をお願いします。

2.2 「ID/パスワードでログイン」欄でログイン

郵送された「学認 Survey システム　ログイン方法等のご案内」に記載された、

ログイン ID：

パスワード：

を「ID/パスワードでログイン」欄の ID, パスワード枠に入力して「ログイン」ボタンをクリックしてログインします。



ダッシュボード画面に遷移しますが、「ログイン ID」は機関を特定する ID であり、回答者個人が特定できないので、画面右上の表記は、ID, 機関名となっています。

回答すべきアンケート「2026 年度。。。。」を選択して、回答を開始してください。

2.3 「学認/Orthros アカウントとの紐づけ」

学認申請システムに運用担当者として登録されていない人、および運用責任者かつ ePPN が登録されていない人が、調査に回答頂ける場合は、ダッシュボード画面の「学認/Orthros アカウントとの紐づけ」メニューで、未登録回答者を機関グループのメンバーに登録することができます。

「2.2「ID/パスワードでログイン」欄でログイン」でログイン後のダッシュボード画面の右上「機関名」をクリックすることによって「学認/Orthros アカウントとの紐づけ」メニューが現れます。

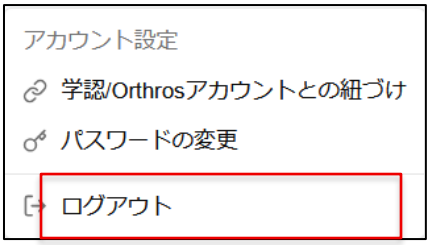


この「学認/Orthros アカウントとの紐づけ」メニューをクリックすると学認クラウドゲートウェイサービスの認証画面に遷移します。

学認クラウドゲートウェイサービスで認証を行い、元のダッシュボード画面に戻ってきたら紐づけ完了です。

画面右上の ID は変化しませんので、引き続き紐づけされたアカウントで回答を行う場合は、一旦ログアウト後「GakuNin でログインする」ボタンから紐付けしたアカウントでログインしなおしてください。

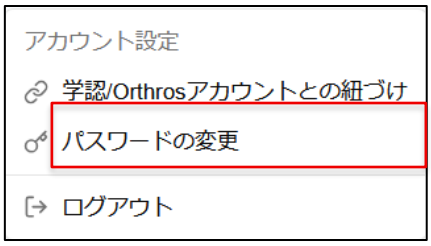
機関 IdP に学認クラウドゲートウェイサービスへの属性送信設定が行われていないと紐付けできないことがあります。その時は、Orthros アカウントを取得して、その Orthros アカウントを紐付けしてください。



2.4 「パスワードの変更」

郵送された「学認 Survey システム　ログイン方法等のご案内」に記載された「パスワード」を変更することができます。

「ID/パスワードでログイン」欄でログイン後のダッシュボード画面の右上「機関名」をクリックすることによって「パスワードの変更」メニューが現れます。



パスワード変更のポップアップウィンドウが表示されますので、「現在のパスワード」、「新しいパスワード」および念のため確認のため新しいパスワードをもう一度入力し、「変更する」ボタンをクリックしてください。



もし、「現在のパスワード」がわからなくなった場合は、利用者向けの画面から変更することはできません。システム管理者（アンケート運営事務局）宛にご連絡ください。

2.5 同一機関の複数回答者による同時ログイン

同一の機関の複数回答者が同時にログインして、回答することができます。

回答した内容は、回答毎に入力時（テキストを入力する質問であればそのフィールドからカーソルが離れた時点、選択肢から選択する質問であれば選択した時点）に自動で保存され、例えば「保存」ボタンを押す必要はありません。

よって、同一機関の複数利用者が同時にログインした場合であっても、異なる質問に対して回答している限りはその入力や選択が競合することはありませんが、同時に同じ質問に回答をした場合は競合が発生することがあります。その場合は、後から入力した利用者の更新が反映されず競合が発生した旨のエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージ内の「再取得」リンクをクリックして、他の利用者が入力した回答を読み込み直してください。



3 ダッシュボード

ログインすると、「ダッシュボード」が表示されます。

ダッシュボードには、公開されているアンケートの一覧が表示されます。ただし、全てのアンケートに回答ができるわけではなく、すでに回答期限が過ぎているアンケートも表示されます。例えば、2026 年度のアンケートに回答するにあたって、前回 2025 年度のアンケートの回答結果は参照のみの表示となります。

アンケート一覧から回答、あるいは参照したいアンケートの「アンケートを開く」ボタンをクリックしてください。

今年度は「2026 年度学認参加 IdP 運用状況調査」を選択して、回答を開始してください。



3.1 ログアウト

ダッシュボード画面右上にある利用者名および機関名をクリックしたプルダウンメニューの「ログアウト」メニューでログアウトできます。

ただし、学認（Shibboleth）からのいわゆるグローバルログアウトではなく、学認 Survey システムからのログアウトです。



4 アンケートの表示・回答

ダッシュボードで「アンケートを開く」ボタンをクリックすると、アンケートが回答あるいは参照できるアンケート画面になります。アンケート画面は、左側の「セクション一覧表示エリア」と右側の「回答エリア」の二つのエリアで構成されています。



4.1 セクション一覧表示エリア

セクション一覧表示エリアには、セクション（設問のまとまり）の回答状況に応じた進捗状況がプログレスバーで表示されます。セクションタイトルの右横にセクションの回答状況が表示されますが、その意味は、以下のとおりです。

- 「未回答」：必須の質問に一つも回答していない
- 「途中」　：必須の質問に一つは回答しているが、全ては回答していない
- 「完了」　：全ての必須の質問に回答している
- 空白　　：質問が一つもないセクションです

各セクションのタイトルをクリックするとそのセクションの質問と回答欄が回答エリアに表示されます。「戻る」および「次へ」ボタンで前後のセクションに移動することもできます。なお、回答エリアの最下部の「戻る」、「次へ」ボタンでもセクションの移動はできます。

セクション一覧表示エリア下に「回答を PDF 形式で印刷」「提出する」ボタンがあります。

セクションをクリックした時、セクション一覧表示エリアにアンケート毎のアイコンが表示されます。

回答済のアンケートはアイコンの下部に黒帯が表示され、未回答のアンケートは黒帯が表示されません。アイコンの右上の赤い★は回答が必須の質問を示します。

アイコンをクリックするとそのアンケートの質問内容が回答エリアに表示されます。



4.1.1 「回答を PDF 形式で印刷」ボタン

「回答を PDF 形式で印刷」ボタンをクリックすると、セクションに分かれていない全質問と回答を PDF 形式（セクション毎の改ページはありません）としてブラウザの印刷機能が呼び出されます。参照のみの前年度アンケート画面でこのボタンをクリックすると、前年度の全質問と回答を印刷することもできます。

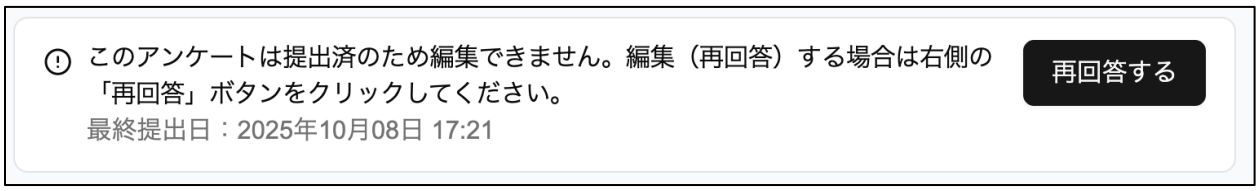
4.1.2 「提出する」ボタン

「提出する」ボタンは、セクション毎の回答状況が完了となった時に、クリックできるようになります。このボタンがクリックされると、設問の依存関係（Aが選択されたらBにも答え

なければならない、といった関係）を含めた「回答必須」である設問に対してすべて回答されているかのチェックが行われます。



一度提出した回答は編集できなくなりますが、回答エリアの上部に表示される「再回答する」ボタンで回答しなおすことができます。

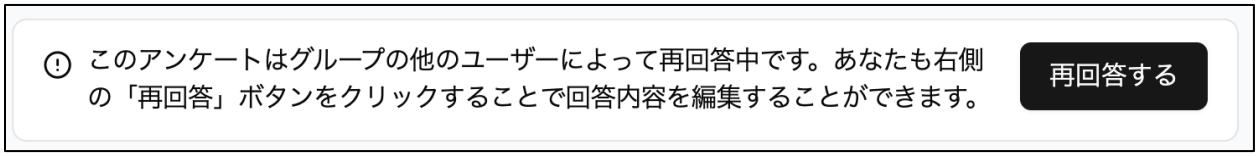


「再回答する」ボタンをクリックしたブラウザのセクションでのみ、そのアンケートの回答を変更することができます。一度全てのブラウザのウィンドウを閉じたり、別のブラウザで開いた場合は編集できません。また、当該グループの他の利用者も編集できません。他のブラウザで利用者が編集したい場合は、同様に「再回答する」ボタンをクリックしてください。

編集が終わったら、必ず「提出する」ボタンをクリックしてください。「提出する」ボタンをクリックするまでは、回答未提出の扱いとなりますので、ご注意ください。

なお、「提出する」ボタンをクリックし回答提出が完了したら、連絡用メーリングリスト宛にその旨のメールが送信されます。

グループ内の他のユーザー（あるいは別のブラウザ）で再回答中の場合は、回答エリアの上部に以下のような表示がなされ、自身も再回答することができます。ただし、再回答中に他の利用者が「提出する」ボタンをクリックして再提出すると、編集できなくなります。編集を継続する場合は、再度、自身で「再回答する」ボタンをクリックしてください。



4.2 回答エリア

回答者は、回答するセクション（設問のまとまり）を選んで、回答エリアで回答を編集（入力）してください。

本調査アンケートでは、次のフォームを使って回答いただきます。

(1) 短文回答
(2) 長文回答
(3) ドロップダウン
(4) 選択式（単一回答）
(5) 選択式（複数回答）
(6) ドロップダウングリッド

4.2.1 短文回答

任意のテキストを入力できます。入力フィールドよりも長いテキストを入力した場合は横にスクロールし、ブラウザウィンドウでは全ての表示することはできません。ただし、PDF 形式で印刷した場合は複数行に折り返して表示されます。

Q1.機関名 ※必須

短文回答欄

4.2.2 長文回答

任意のテキストを複数行に渡って入力できます。改行することもできます。

Q20.特に，IDとクレデンシャルの配付や管理によってこれを保証する方法を記してください。（技術運用基準8.3） ※必須

長文回答欄

Q20回答例
I IDとパスワードの配付は，職員証・学生証を用いて本人確認を行った上で，書面で行っている。
I IDとパスワードの配付は，信頼が置ける学内便等を通して行っている。

4.2.3 ドロップダウン

ドロップダウンメニューで表示される選択肢から一つの回答を選択できます。

Q52-a. NIIでは「学認対応IdPサービス調達仕様案」を公開しています。貴機関のIdPの運用もしくは構築にあたり、この「学認対応IdPサービス調達仕様案」を参照または利用したことはありますか。

学認対応IdPサービス調達仕様案： https://www.gakunin.jp/document/731

選択してください

1. はい、IDaaS版（仕様書1～3のいずれか）を参照または利用した
2. はい、オンプレミス版（仕様書4）を参照または利用した
3. はい、IDaaS版とオンプレミス版の両方（仕様書1～3のいずれかと4両方）を参照した
4. いいえ、知らなかった
5. いいえ、知っていたが、参照しなかった

ドロップダウンメニュー：「選択してください」欄をクリックすると出現する

4.2.4 選択式（単一回答）

ラジオボタンで表示される選択肢から一つの回答を選択できます。

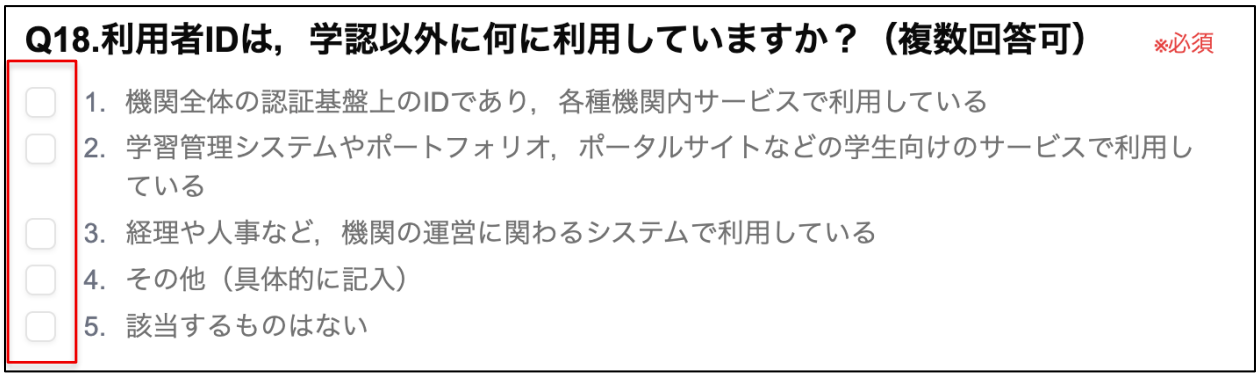
Q3.教職員のID数 ※必須

1. 非公表
2. 教職員には発行していない
3. 500以下
4. 501-1000
5. 1001-5000
6. 5001以上

ラジオボタン

4.2.5 選択式（複数回答）

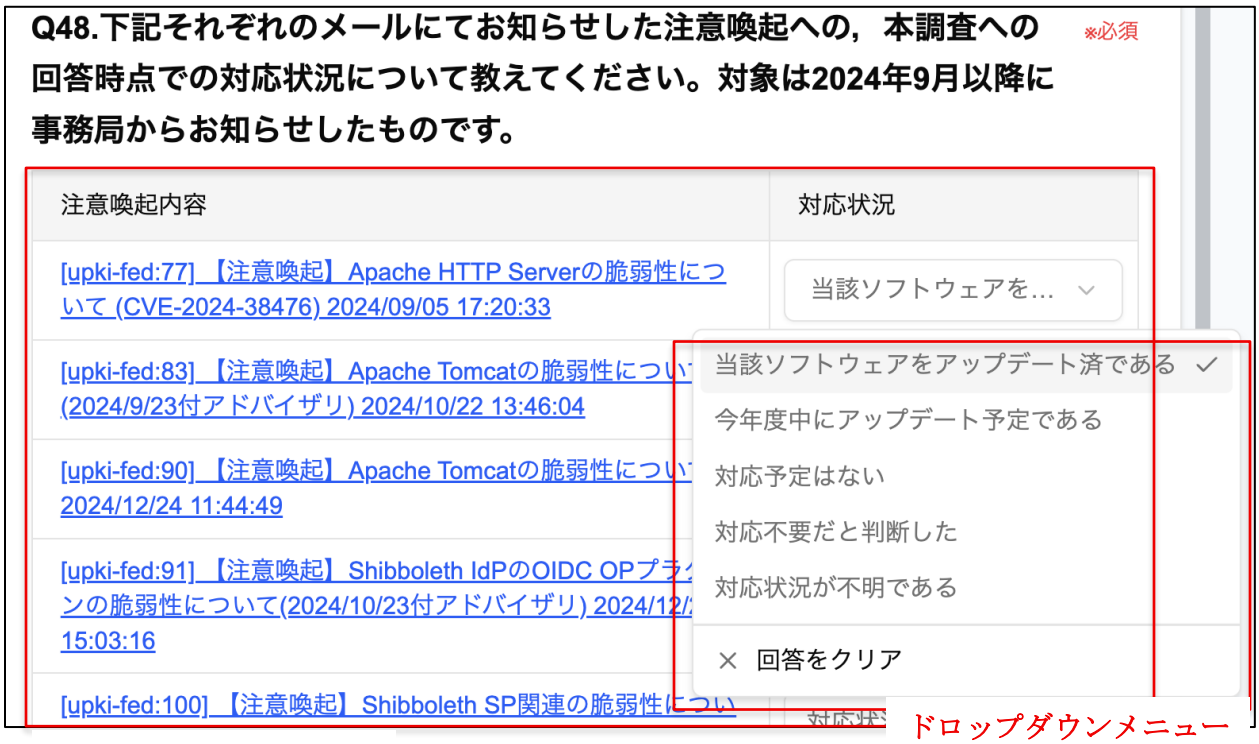
チェックボックスで表示される選択肢から複数の回答を選択できます。



チェックボックス

4.2.6 ドロップダウングリッド

ドロップダウンメニューで表示される選択肢から一つの回答を選択できます。
質問文（以下の例では「注意喚起内容」）が異なるものの、選択肢（以下の例では「対応状況」は同一の場合に適用されます。



ドロップダウングリッド

ドロップダウンメニュー

4.3 質問の依存関係

ある質問に回答すると別の質問の回答が「必須」になるような関係を依存関係と呼びます。

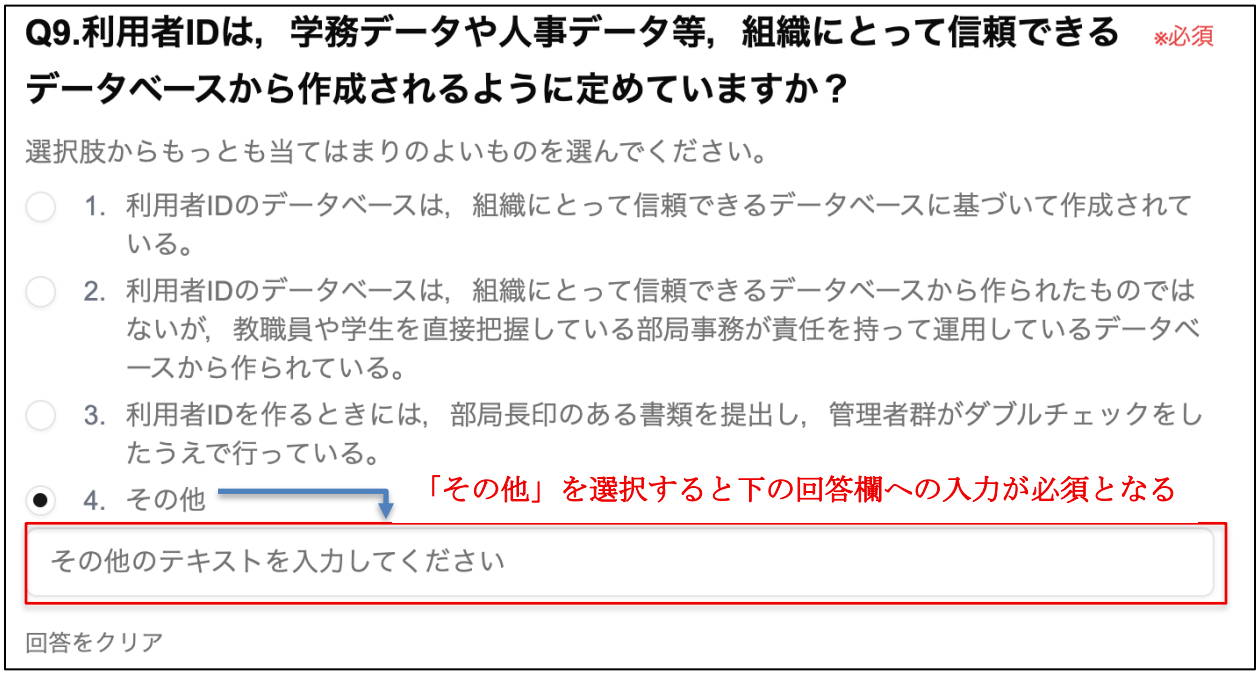
このような依存関係のある質問への回答において、別の質問への回答が必須になる選択肢から、必須ではない選択肢に回答を変更した場合、必須になっていた質問に入力されていた回答はクリアされます。

例えば、次の例で、「4. その他」を選択して「その他のテキストを入力してください」欄になんらか回答を入力した後、選択を「4. その他」から（その他欄への回答が必須となる設定がない）「3.」に変更した場合、「その他のテキストを入力してください」欄に入力してあった内容はクリアされます。

ここでは、２つの場合を例示します。

4.3.1 選択肢として「その他」を選択した場合

ドロップダウン、選択式（単一回答）、選択式（複数回答）の質問で、回答の選択肢として「その他」を選択した場合、それを補うテキスト入力が必須になります。



4.3.2 選択肢に応じて別の質問の回答が必須になる場合

ドロップダウン、選択式（単一回答）、選択式（複数回答）の質問で、回答の選択肢によっては別の質問への回答が必須となる場合があります。

以下の例では、選択肢として「1」、「2」、あるいは「 9.その他」を選択した場合に、次の質問「Q8-a.」への回答が必須になるように設定されており、その質問に導くメッセージ「このオプションを選択した場合は、次の質問に回答してください：」が表示され、「Q8-a.「その他」と答えた場合及び、1 または 2 と回答し公開されている URL がある場合は、具体的に記入してください。」をクリックすると、Q8-a の質問にジャンプします。

